

Yoko Pinkham | ヨウコ・ピンカム

“庭”

2021.3.11 ~ 2021.4.25

Thursday - Monday (Closed on Tuesday and Wednesday)

3.11~21 15:00 - 20.00 / 3.22~4.25 15:00 - 22.00

※3/22日以降の営業時間は、東京都の感染症対策に基づいて変更の可能性があります。



この度、LAVENDER OPENER CHAIRでは2021年3月11日より4月25日まで、ヨウコ・ピンカムによる個展「庭」を開催します。ヨウコ・ピンカムにとって、今回が初めての個展となります。もともと編み物を趣味にしていたピンカムは、2019年頃からタフティングと呼ばれる織りの技術の一種を用いたカーペットの制作を始めます。タフティングは、織りの技術とは言いながら、その実際は、支持体の布地に対して毛糸を刺しこんでいくという意味ではむしろ刺繍に近く、また、絵の具を羊毛に置き換えたペインティングとも言えます。彼女の日々の制作の多くの時間は主にiPadのお絵描きツールを用いて下絵を描くことに費やされます。そしてそれらの下絵から選ばれたもののいくつかが羊毛によって特定のサイズに改めて描き直されます。アクリル等の化学繊維ではなく、あくまで天然の羊毛繊維を使いたいという、編み物をしてきた頃からの彼女の一貫したこだわりは、完成した作品がカーペットとして機能的に使用される場合を想定した気遣いと言えます。その一方で、なかには既製品のカーペットのヴァリエーションにはないようなごく小さな作品もあり、あくまで彼女がカーペットにできることの可能性を自由に捉えていることが感じられます。この機会に皆様のご高覧を賜りますようお願い申し上げます。

ヨウコ・ピンカム

1989年千葉県生まれ。編み物を通してウールの面白さを発見して以来、ウールを主な素材として使用した作品を制作している。現在はタフティングの技法を用いたラグの制作などを行なっている。主なグループ展に「アーティストランニングフェスティバル」XYZ collective (2020, 東京)、「Lavender Hair」2x2x2 by imlabor (2021, 東京) など。